

## ゲートキーパーとは

1. 組織や企業の境界を越えて、その**内部**と**外部**を**情報面**から**つなぎ合わせる**人のことを指す。組織内の誰とでも何らかの形で接触しており、組織外部との接触も極めて多い人間である。
2. ある課題を解決するのに必要な知識を持つ企業内外の人たちが頭の中にプールされていて、顧客の話を聞きながら、**誰と誰**を組み合わせるとその**顧客の要望を満たす**ことができるかを設計できる人のことを指す。優秀な**ゲートキーパー**は、社内の研究開発者に精通しており、また極めて**多くの先駆的な顧客**との間に**パイプ**を持っていて、それらの顧客に対して頻繁に課題とその解決策の提案を繰り返している。

## ゲートキーパーの特徴

組織には**特有**の文化や考え方、用語などが存在し、それが**コミュニケーション**を**妨げる**要因になっているが、*gatekeeper*は組織の**内外**と**接触**する機会がきわめて多く、かつ**高度な専門知識**を持っているため、**関連**する**情報**をわかりやすく伝え、**コミュニケーション**を**円滑**にすることができる(例：顧客の要望を把握しながら市場動向を探り、研究開発や販売部門との交渉を進められる)。

製品開発には多くのプロセスが必要であり、コミュニケーションの面から様々な部門を結びつける**ゲートキーパー**の**存在**が、**新規事業**を**成功**させる要因の1つとなっている場合もある。

グローバル化に伴い関連部署や部門が遠隔地で機能しているケースも珍しくない。製品や技術の開発の際に**多数の情報源**に接触し、**膨大な情報量**を**効率的に処理**する**ゲートキーパー**の**役割**が、ますます重要になっている。